

代表質問

主な質問と答弁

2月定例会では、「一般質問」(議員個人による市政全般に対する質問)にかえて、新年度の市長の施政方針や予算案等に対し、会派を代表した議員が「代表質問」を行い市政をチェックしています。今定例会の代表質問は、3月1日、2日、5日の3日間に行われ、8名の質問者が、市長の政治姿勢などについて、市の考えをただしました。

地域防災計画

自主防災組織等との協力体制を推進 計画の実効性を高める

(藤沢市公明党)

質問 地域防災計画を執行するためには、各部署の連携や必要人数を定めた業務継続計画を作成し、毎年度、実績に合わせて修正していく。さらに、実施計画として、藤沢市地震・津波対策「答弁」地域防災計画は、本市の防災対策の基本となる計画である。実効性を高め、



洪水ハザードマップの見直しに向け測量が予定されている白旗川

質問 (ふじさわ湘風会) 部局別枠配分方式による予算編成について、これまでの課題と、平成30

事業の優先性を精査 平成30年度予算編成 課題に対応し重点事業を推進する

答弁 部局別枠配分方式による予算編成は導入2年目となるが、導入前と比較し、予算要求段階での収支が離れ、各部署での調整作業における工夫が見られるなど、予算編成に係る職員の意識が高まりつつある。しかし、一部の部局で配分枠内におさめ切れなかったなど、本方式のメリットが十分に生かし切れていないため、今後はさらなる改善に取り組む。

質問 (自民党藤沢) 都市化が進む本市において、将来の人口構成などを踏まえた災害対策はどうか。また、災害復興条例及び基金条例の今後の取り組みについて聞きたい。

答弁 都市化が進む本市において、将来の人口構成などを踏まえた災害対策はどうか。また、災害復興条例及び基金条例の今後の取り組みについて聞きたい。



福祉避難所が開設される各地区の市民センター

会派別 代表質問項目

※多数会派順、同数会派は結成届出順

市民クラブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

民主クラブ

- 1 市長の政治姿勢について

藤沢市公明党

- 1 行財政運営について
- 2 安全で安心な暮らしを築くまちづくりについて
- 3 「2020年」に向けてまちの魅力を創出するまちづくりについて
- 4 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てるまちづくりについて
- 5 健康で豊かな長寿社会をつくるまちづくりについて
- 6 都市機能と活力を高めるまちづくりについて

ふじさわ湘風会

- 1 市長の政治姿勢について

日本共産党藤沢市議会議員団

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 災害から市民のいのちを守ることについて
- 3 憲法を生かし、市民の福祉、くらしの施策を拡充することについて
- 4 子供の発達を保障する教育環境整備と子育て支援策の拡充について
- 5 地域経済の振興のためのまちづくりと地元中小業者対策について

無所属クラブ

- 1 平成30年度における市長の政治姿勢について

自民党藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

市民派クラブ

- 1 財政について
- 2 防災について
- 3 横須賀水道道について
- 4 公教育の平等性について

と連携した設置訓練などを実施する。一方、河川洪水対策としては、想定最大規模の洪水ハザードマップの見直しに向け、30年度は本市管理の準用河川のうち、白旗川及び滝川の測量を実施する。その上で、県管理河川の引地川等の浸水想定区域の見直しなどを踏まえ、32年度を目途に改定を考慮している。このような課題の整理を初め、計画を有効に機能させるため、自主防災組織や民間事業者等とのさ

質問 (市民クラブ藤沢) 財政難を乗り越えるために最も重要である、行政改革の考え方について聞きたい。また、行政改革等特別委員会において全事業の見直しを行うとしていたが、取り組み状況について聞きたい。

答弁 平成29年4月に策定した藤沢市行財政改革2020基本方針に基づき、事業の見直しを図るため、29年度は、事業評価シート(ト)の再編による業務の見直しや業務分析などの取り組みを行った。加えて、今後は抜本的な見直しをさらに進めるため、28年度事業評価シートの中から一定の条件に該当した事業を見直し対象事業として抽出し、その事業の見直しに

質問 (民主クラブ) 行財政改革基本方針市民参画を推進

答弁 藤沢市行財政改革2020基本方針及び実行プランは、藤沢市行財政改革協議会及びパブリックコメントによる意見を参考に策定した。この協議会は市民公募委員と学識経験者によって構成されており、行財政改革に係る方針等について通年でご意見をいただ

その結果は実施計画報告書にまとめられており、報告に対する市の今後の対応方針は、市の方針の概要として公表し、市民参画の現状が明らかになるよう努めている。

平成30年度は、引き続き同協議会や、カイゼンふじさわでの議論などを通じて、また、ホームページなどのさまざまな媒体を通じた情報提供と、市民からの意見をもち、市民参画を推進していく。

このほか、本市の事務事業を外部の視点から評価する外部評価と、外部評価を実施した事業の中から一部の事業を取り出し、より多くの市民に参加していただくことを目的としたカイゼンふじさわを実施している。

また、行財政改革の進行管理についても、進行状況の確認や意見をいただき、新たな取り組み等を行財政改革2020実行プランに反映することとしている。